

# 五小っ子

令和元年度 学校便り第21号 ( 2月 3日)

島原市立第五小学校  
校長 永田 俊文



いのち **学校教育目標**  
『生命を大切にし、進んで学ぶ  
心身ともにたくましい子どもを育成する』  
○ やさしさいっぱい ○ かしこさいっぱい ○ たくましさいっぱい  
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を  
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

**節分** 今日『節分』、明日は立春です、春が急ぎ足になりますよ。  
皆様お変わりありませんか。節分というのは季節を分ける  
という意味です。



ですから年に4回あります。立春、立夏、立秋、立冬  
の前日です。旧暦でいうと立春は1年の始まりで、その  
前日の節分は、大晦日にあたります。それでこの節分  
が一番重要視されて、現在では節分と言えば立春の前日  
ということになったのだそうです。  
ところで、節分にやる事といえば豆まきですね。  
『何故豆まきをするようになったの?』『どうして鬼は  
角があって、トラ柄の毛皮をはいているの?』  
ちょっと調べてみました。毎年似たような記事です  
が.....  
(※諸説がありますが、一般的にいわれているものです)

古来、中国では年が替わるのに際して、魔除けをする  
様々な習慣がありました。

それが日本に伝わり、豆は「魔滅(まめ)」に通じ、  
文武天皇の時代(706年~)から「追儼(ついな)」と呼ばれる鬼払いが行われるよ  
うになりました。そして豆を人間が食べてしまうことにより、鬼を退治したとい  
う事になるのだそうです。

豆まき以外にも、焼いたイワシの頭と柊の葉(とげのある葉っぱですね)を戸口  
にさす地方もあります。大阪では縁起のよい方角を向いて恵方巻というお寿司を食  
べる風習もあります。

鬼がトラ柄の毛皮をはくわけは、「鬼門」に由来するそうです。「鬼門」は鬼の出  
入りする方角で「北東」とされ、この方角は十二支にあてはめると「丑」「寅」の  
方角(うしとら)にあたります。そのため、古来鬼は「牛(丑)」の角(つの)を  
もった姿で、「虎(寅)」の毛皮を身に着けているとされているそうですよ。

子どもたちが書いた「自分の心から追い出したいオニ」を一部紹介します。

なきむしオニ ねぼうオニ おしゃべりオニ おおごえオニ あばれオニ  
だらだらオニ よびすてオニ めんどくさオニ なんでもいやというオニ  
今夜は大きな声で豆まきをして、心のオニもイジラルエンジンがも追い出しまじょう。  
「鬼は外! 福は内!」

## 心を一つにして

今年も縦割り班活動の一環として、『長縄大会』を実施  
します。21チームの班毎に練習を重ねているところです。



2分間に何回跳べるかを競う大会です。  
高学年が下級生を教え・助け・結果にこ  
たわる事が目的です。  
本番まであと2回の練習機会がありま  
すので、各班の作戦に応じて担当の先生  
も励まし続けています。  
大会当日の応援をお待ちしています。

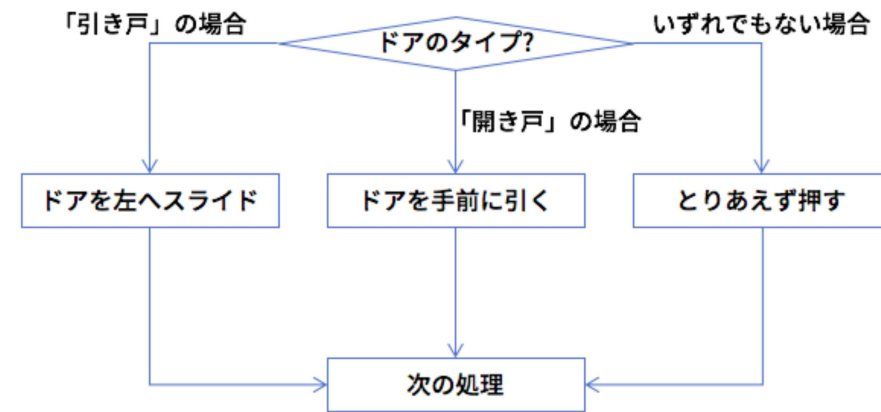
○日時 2/19(水) 8:35開式  
(9:20終了)  
※雨天延期 予備日2/20(木)

## プログラミング教育

来年度から小学校でプログラミング教育が必  
修のものとして開始されます。

『プログラミング教育必修化』と言っても、新たに『プログラム』という  
ような教科が作られるわけではありません。国語や算数等の教科学習の中で、  
プログラミング的思考を養っていくのです。

プログラミング的思考とは、何かを行いたいと考えた時、その達成すべき  
ゴールから逆算して、何をどのように実行すればたどり着けるかを順序立て  
て考えることです。例えば『鍵を開けてドアを開ける』という行動をプログ  
ラミング的思考で表すと、下図のようになるわけです。



そのような思  
考力を育てるた  
めに、授業の中  
にパソコンを使  
った作業が効果  
的であれば取り  
入れていくこと  
もあります。

来年度から日  
本全国の小学校  
で行われる教育  
活動なのです。



足ぶみ  
金子 みすゞ  
わらびみたよな雲が出て  
空には春がきましたよ  
ひとりで青空みていたら  
ひとりで足ぶみしましたよ  
ひとりでわらえてきましたよ  
ひとりでわらってしていたら  
だれかがわらってきましたよ  
からたちかきねが芽をふいて  
小みちにも春がきましたよ